

日 時：平成 28 年 3 月 15 日（火）18 時 30 分 ～20 時

場 所：平成町コミュニティセンター

対象地区：平成、南田町

参加人数：13 名

内 容
<p>○側溝、道路整備について (市民からの要望・質問)</p> <p>東京会館裏にある通りの側溝、道路整備は一昨年、去年と町会要望に出し、「平成 28 年度以降実施するよう予算獲得に努める」との回答を受けた。予算的なこともあると思うが、具体的な回答は得られないものか。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none">各町会から出された平成 28 年度の町会要望は 97 件だった。そのうち土木関係が 77 件、総務関係が 7 件、農林関係が 9 件、その他 4 件だった。側溝、道路舗装に関する要望が一番多いが、現場を確認し順番をつけている。小和森種取 5 号線は、平成 28 年度に実施予定である。 <p>(市民からの要望・質問)</p> <p>その通りにある電柱が邪魔で、救急車が入っていけない。一緒に来る救助工作車は、保育園の駐車場で待機している。民地へ移設するとなれば、町会で交渉しなければならないのか。市役所で交渉してもらえないか。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none">救急車等は幅員 6 m 以上の道路でなければ入っていけない。現在、宅地造成をする際は 6 m 以上の道路となっているが、平成町会はだいぶ前に開発されており、その幅員に達していないためストレッチャーでの搬送になる。救急車が入っていけるとなれば、道路を拡幅する以外は難しいと思われる。今回の側溝整備に補償費を見ているのは、電柱移設分と思われる。通常、道路を拡張、改良したいのであれば地元の協力が前提となるので、電柱を個人宅へ移設する交渉については町会へお願いし、協力が得られた段階で事業をスタートすることになる。
<p>○集会施設の修繕について (市民からの要望・質問)</p> <p>平成町コミュニティセンターは、平成 6 年に建てられた。外壁下半分のサイディングを取り換えたが、上半分はボロボロである。去年、補修にいくらかかるのか 4 種類の見積りをとったが、安くても約 455 万円であった。「集会施設の修繕等に係る市の取扱い」により計算すると、143 万円が町会負担となり、一世帯当たり 3,000～5,000 円の寄附金を集め</p>

なければならない。一番安い見積りでもその状態なので、補修ができない。

(市の回答)

- ・耐震基準に満たない集会施設は 19 箇所あり、来年度から古い順に 1 年に 2 箇所の建て替え又は耐震補強を行っていく。
- ・平成町コミュニティセンターは平成 6 年建設であるが、建設から 25 年以上経過していれば、さらに 5 % を市で負担する。
- ・昨年、コミュニティ育成奨励金を見直した。町会によっては少し多くなっている。できればそれを活用してほしい。

○広報ひらかわについて

(市民からの要望・質問)

広報ひらかわの戸籍だよりのページは、背景がグレーである。昔は明るい色を使っていたこともあった。出生、婚姻も載っているので、背景色を検討してほしい。

(市の回答)

- ・変更を検討する。

○市民歌について

(市民からの要望・質問)

市民歌を公共施設だけでなく、スーパー等の商業施設でも BGM としてかけてもらうようにできないか。

また、進学で県外へ転出する方に市民歌の CD をプレゼントできないか。将来、Uターンで戻ってくる可能性を考えれば、CD 作成代は安いといえる。

(市の回答)

- ・市民歌は、できるだけ多くの皆さんに親しんでもらいたいと考えている。文化センターのイベントや各団体でも市民歌をかけてもらっている。ダンスバージョンの市民歌も作成しているので、さらに広めていきたい。
- ・市内の商業施設で BGM としてかけてもらえるか検討する。転出する若い人たちへ CD を差し上げるのは、いいアイデアなので対応を考える。

○健康づくりのポイント制について

(市民からの要望・質問)

健康づくりのポイント制はいつから行うのか。

(市の回答)

- ・平成 28 年度から実施する。

○集会施設の修繕について

(市民からの要望・質問)

集会所トイレの点検口のそばに地下室があるが、水が溜まっている。今回で 3 回目であ

る。前に基礎の防水工事をしたが、現在も半分くらい地下水が溜まっている。

(市の回答)

・町会で修繕してほしい。

(市民からの要望・質問)

町会では建物を預かっただけである。それを町会で修繕するのは納得がいかない。完成検査はどのように行ったのか。完成検査を受けていても現在も水が溜まっている。あくまでも町会の管理の仕方が悪いということか。

(市の回答)

・町会の要望があり、旧平賀町時代に建った建物である。一度、水がなぜ溜まるのか原因を調べる。

(市民からの要望・質問)

前回は調べ、基礎の内側に防水工事を施した。原因が判明しないので今も水が溜まっているのではないか。

(市の回答)

・もう一度調べる。

○集会施設の耐震診断について

(市民からの要望・質問)

集会施設耐震診断の結果を教えてほしい。平成町コミュニティセンターは建設後7年目から劣化し、シロアリが発生したため2回ほど工事したこともあった。

平成28年度から5年間の指定管理を受けるが、欠陥がある状態で指定管理を受けることに疑問を感じる。

(市の回答)

・昭和56年以前の建物について耐震診断を行っている。昭和57年以降の建物については建築確認の際に耐震基準を満たしてなければ許可が下りないため、耐震診断を行っていない。

(市民からの要望・質問)

住宅の場合のように、建築後10年保証などはないのか。

(市の回答)

・公共物でそのような保証は聞いたことがない。

○ゴミの集積箱について

(市民からの要望・質問)

ゴミの集積箱が限界になっている。鉄骨製にするなど換えてほしい。

(市の回答)

- ・町会によっては集積箱を鉄骨で作っているところもある。平成 28 年度は 1 件につき 3 万円の補助を出すので、作り直す場合は市民課へ相談してほしい。

○マックスバリュとの境界について

(市民からの要望・質問)

ねふた小屋が建っているところは、以前は農道であった。その内側の田を買い、寄贈して集会施設を建ててもらった。

一昨年、マックスバリュから何度も「ねふた小屋からの落雪が危険なので除雪してほしい」と言われたが、開発許可をどのように出したのか。

(市の回答)

- ・開発許可について調べなければわからないので、町会長へ後日連絡する。
- ・道路、水路は法定外公共物なので国から市へ移管され、マックスバリュが道路・水路の部分を市から借り、敷地使用料を払っている。

(市民からの要望・質問)

敷地を農家から借り入れし、撤退する時には農地にして返すのではないのか。

(市の回答)

- ・農道は、国のものであったのが市へ払い下げられた「官地」である。それをマックスバリュに貸している。田については、所有者がマックスバリュに貸している。貸主が違うということである。

(市民からの要望・質問)

市がマックスバリュに貸しているという通知もなく、一方的にマックスバリュから「ねふた小屋の雪が危ないから片付けて」と何度も言われた。集会施設の方が先に建っており、あとからマックスバリュが建った。腑に落ちないので行政側で指導できないか。

(市民からの要望・質問)

マックスバリュが建つ際、市役所で協議会を開いた。その時、「ねふた小屋があるので、それを踏まえて設計してほしい。できないのであれば、もう少し離して設計してほしい」と意見した。

(市の回答)

- ・マックスバリュにお願いはできるが、結果はお約束できない。

○側溝整備について

(市民からの要望・質問)

菊地医院の通りから小和森へ抜ける道路付近の側溝は深く、危険である。ガードレールを設置できないか。子どもたちが通学に使う道路なので危ないと感じている。市でも現場を確認し、対策をしてほしい。

(市の回答)

・県へお願いしている。現場を確認したが、たしかに危険であった。県への要望事項も多くなかなかやってもらえないが、引き続きお願いする。

○買い物難民について

(市民からの要望・質問)

昔は各町会に個人商店があったが、現在は1軒もなく、わざわざスーパーまで出向かなければならないという話を聞く。市全体でみると、そのような状況がだいぶあると思うので、実態調査し日常生活に困らないようにしてほしい。

(市の回答)

・今後ますます高齢化が進むにつれ、買い物難民が増えると思われる。郊外型の大型店が増え、各町会にある個人商店が消えている。困っている方がどれくらいいるのか、買い物難民に対する対策(宅配や循環バス)について調査したい。

○図書館の今後の展望について

(市民からの要望・質問)

昨今、全国の図書館が様変わりしている。先日、岩手県紫波町の図書館では、コンシェルジュがいて観光案内をしていること、秋田県立図書館では、司法書士にビジネス相談をできることなどがTVで放映されていた。平川市の図書館の今後の展望はあるか。

個人的には商工観光課が尾上分庁舎にあり、観光協会は商工観光課が事務局をしている。弘前市、黒石市のように観光協会が独立することはできないかもしれないが、観光案内所は平賀の中心地に置いてほしいと思っている。

(市の回答)

- ・岩手県紫波町は、図書館に居酒屋を併設するなどして、にぎわいを創出している。
- ・市内に2つの図書館があるが、できるだけ多くの人に利用してもらえるよう方策を考えなければならない。活字離れが進んでいるが、読書会が中心となって読書を推進してほしい。また、様々な方からご寄附をいただき、図書館の本を増やしているので、図書の実を充実を図っていきたい。
- ・来年度からは小学校に新聞を配備し、活字を使った授業をしてもらいたいと考えている。小学校5年生から中学校3年生まで各クラスに配備予定である。学校の図書室に司書を置き充実させたいが、現状は難しい。
- ・観光案内所を作るのは難しい。観光協会が独立し、市の観光発展に努めていただきたい

が、現状のままで独立すると、観光協会そのものが成り立たないと苦慮している。県内10市の中で、つがる市と当市だけが独立した観光協会がない。

- ・旧3町村の観光協会が合体したものの、現状はそれぞれの色を出し合いながら運営している状況である。新生平川市観光協会となればいいが、現実にはそうになっていない。すぐとはならないが、今後のあり方として、将来的にどのような展望をもっていくのか確認し合いながら進めていきたい。

○投票所となった場合の改修について

(市民からの要望・質問)

夏の参議院選挙から平成町コミュニティセンターが投票所になる案があるが、土足可能やバリアフリーに改修する場合、どの位の予算をみているのか。

(市の回答)

- ・選挙管理委員会から後日回答する。

(市民からの要望・質問)

以前、投票所となった場合について選挙管理委員会と話し合った。今後、選挙のたびに使われるのであれば、そのことも踏まえて助成してほしい。

○市ホームページのまちづくり懇談会会議録について

(市民からの要望・質問)

ホームページ掲載のまちづくり懇談会会議録に、提案に対する結果を載せてほしい。

(市の回答)

- ・要望があったもの等は町会長や提言者に回答しているが、すべて会議録に載せるとなればタイムラグがある。回答を載せられる場合と載せられない場合がある。提案が出され、解決できたものについては、今後載せられるよう努力する。

○高齢者について

(市民からの要望・質問)

町会内にどんどん家が建っていく反面、亡くなる高齢者も多い。見回り隊もいるが、個人情報保護のためなかなか現状がつかめない。また、アパートも多いため実情がつかめず、町会運営も難しい。

(市の回答)

- ・一人暮らしの高齢者の見守り事業としては、民生委員のほか、登録している方については、ほのぼの交流委員がグループを作り見守っている。申請があれば、何かあったときに緊急に電話できる「福祉安心電話」という通報装置もつけることができる。本人が希望しない場合もあるが、周りからの情報がなければわからないこともあるので、できるだけ周りから情報が入るよう努力していきたい。